

09.統廃合に関すること

新たな総合同の校舎



60代

少数教育の優位性はあると思うが
ですが、年間の出生数が20~30人のなかで統廃合は
やむを得ない。



60代

(統廃合をしても)校舎やグラウンドは残してほしい。



60代

教育拠点を湯地にしてはどうか。
拠点を置くことで子供たちの精神面にもいいと思う。
介護学校もあるし夢に繋がる。



40代

継立小は子どもが少なくなりすぎる



70代



80代

統廃合が進むと、祭り等のイベントもなくなってしま
う。地域が沈んでしまうのではないか。



70代

子どもがいない状況では、統廃合は仕方ないのではな
いか。



70代

子どもたちがいなくなると地域の活動にも影響が出
る。仮に統廃合が進むときは地域の活動のことも考え
て欲しい。



30代

早い段階で小中一貫にしたほうがいい。いずれにして
も中学校で一緒になるため。



40代

小中一貫にするのであれば、早めに教えてほしい。皆
さんの心の準備もあると思うので。



40代

生徒数を見ると、学校は統廃合するしかないのではな
いか。



50代

継立小・角田小だけで回すのは厳しい。子供たちも人数が減っていったってかわいそう。小中一貫（統廃合）もやむを得ない。

②人間関係に困った時はクラス替えで距離をおける学校があったらいいな！

仕事柄、友達同士のトラブルの話（いじめはまた別です）を聞く機会が多いです。人間が社会を営んでいくうえで、一定の意見の食い違い、人同士の相性の悪さはあると思うので、子どもが「学校でこんなことがあった」と話してくれたときは具体的な解決策を提示することはあまりせず、気持ちに寄り添って話を聞くに留めます。

そんな中で、毎度毎度同じ子と同じようなトラブルを起こしている子が多く存在します。こういったケースでは“物理的に距離をとる＝クラス替えをする”がときに有効な解決策になると考えます。

しかし、継立や角田の子たちはこの距離をとる（クラス替え）ができない環境にあります。自分が少人数の学校出身なので、小規模ならではのメリットは十分承知しておりますが、こと人間関係においてはクラス替えができないデメリットは非常に大きいと思います。

統合の話はすでにテーブルに上がっておりますが、1つの大きなメリットとしてクラス替えができることがあげられるのではないのでしょうか。



40代